

# フューチャー・ バイオテック

追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：Fバイオテック

2023年6月27日から2024年6月25日まで

第6期 決算日：2024年6月25日



## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、世界のバイオテクノロジーおよび医療機器関連企業の株式へ投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 当期の状況

基準価額(期末)	21,807円
純資産総額(期末)	46,090百万円
騰落率(当期)	+19.8%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
 受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

# 1 運用経過

基準価額等の推移について (2023年6月27日から2024年6月25日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	18,210円
期末	21,807円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+19.8% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 基準価額の主な変動要因(2023年6月27日から2024年6月25日まで)

投資信託証券への投資を通じて、世界のバイオテクノロジーおよび医療機器関連企業の株価へ投資することにより、信託資産の中長期的な成長を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

#### 上昇要因

- 米ドルが円に対して上昇したこと
- 多くの良好な臨床試験や活発なM&A(企業の合併・買収)活動が発表されたこと
- イーライリリーなどの肥満治療薬関連銘柄の株価が堅調に推移したこと
- 世界の医療機器関連株式が上昇したこと

1万口当たりの費用明細 (2023年6月27日から2024年6月25日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	230円	1.229%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) <b>期中の平均基準価額は18,713円です。</b>
（投信会社）	(62)	(0.329)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(164)	(0.878)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.022)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(d) その他費用	1	0.007	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(-)	(-)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.007)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	231	1.235	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

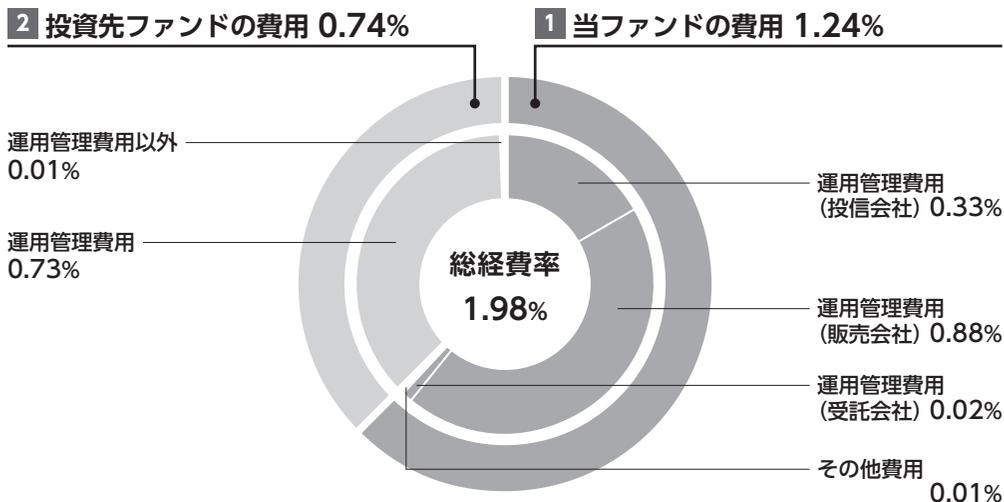
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1 + 2)		1.98%
1	当ファンドの費用の比率	1.24%
2	投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.73%
	投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

※ 1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ 2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている外国投資信託証券)の費用は、シェアクラスの経費率です。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を、目論見書に記載している料率にもとづき区別しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※ 2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている国内投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、「1万口当たりの費用明細」をもとに、投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

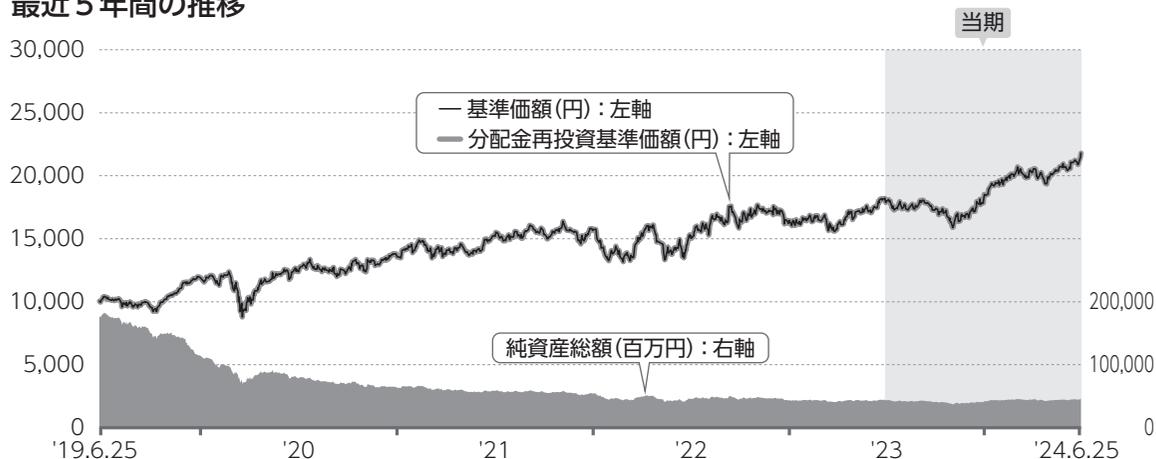
※ 1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※ 上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.98%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2019年6月25日から2024年6月25日まで)

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2019年6月25日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2019.6.25 決算日	2020.6.25 決算日	2021.6.25 決算日	2022.6.27 決算日	2023.6.26 決算日	2024.6.25 決算日
基準価額 (円)	10,049	12,416	15,159	15,285	18,210	21,807
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	23.6	22.1	0.8	19.1	19.8
純資産総額 (百万円)	176,828	80,023	58,455	46,194	44,323	46,090

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について(2023年6月27日から2024年6月25日まで)

期間におけるバイオテクノロジー株式市場および医療機器関連株式市場は上昇しました。為替市場では米ドルに対して円安となりました。

### バイオテクノロジー株式市場

期を通じて、バイオテクノロジー株式市場は上昇しました。

期初から10月に掛けては、金利上昇が重石となり下落しました。11月以降は、米国の利下げへの期待感から金利は低下し、小型銘柄を中心に年末に掛けて上昇しました。年明け以降は、根強いインフレを背景に利下げ期待が後退し下落する局面もあったものの、バイオテクノロジー株式市場は上昇して終わりました。

### 医療機器関連株式市場

期を通じて、医療機器関連株式市場は上昇しました。

期初から10月にかけては、米国の追加利上げへの警戒感の高まりを背景に投資家心理が慎重となったほか、中東情勢の緊迫化を背景にエネルギー供給に対する懸念も嫌気され、株価は下落しました。

11月から2024年2月にかけては、米国の

金融政策が引き締め局面から転換していくとの期待から、投資家は強気に転じました。さらに景気後退も避けて、米国経済は軟着陸するとの楽観的な見通しも追い風となりました。

3月から期末にかけては、雇用環境の過熱感が徐々に和らいでいることが市場の支えとなった一方で、消費者物価が前年比で予想を上振れたことから根強いインフレ圧力が警戒され、株価は軟調に推移しました。

### 為替市場

期末の米ドル/円は、期初と比較して米ドル高・円安となりました。期初から10月に掛けては日米金利差の拡大を背景に円安が進みました。年末にかけてはF R B(米連邦準備制度理事会)による金融引き締め終了観測が強まり、米長期金利(10年国債利回り)が大幅に低下したことから円は反発しました。

年明け以降は、根強いインフレを背景にF R Bによる利下げ期待の後退、加えて日米金利差が大きい状況が当面続くとの見方から、再び円安が進みました。

## ポートフォリオについて (2023年6月27日から2024年6月25日まで)

### 当ファンド

「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」、「フィデリティ世界医療機器関連株ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」の組入比率を原則として高位に保ちました。「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」、「フィデリティ世界医療機器関連株ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」への投資割合は、概ね7：3を維持しました。

### カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）

カンドリアム・ベルギー・エス・エーの投資プロセスと意思決定はボトムアップにフォーカスしており、個別企業のニュース、特に臨床試験に大きく依存しています。これが銘柄選定とポートフォリオ構築の基礎となっています。期初から年後半に掛けて、中小型銘柄に値ごろ感が見られたことから、アップサイド（上振れ）が期待できる中小型銘柄へのウェイトを慎重に増やしました。

個別銘柄では、開発した肥満治療薬の市場

が今後も大きく成長する期待があったことからイーライリリーを新規で組み入れました。一方で、主力のナルコレプシー治療薬の競争が激化したことからジャズ・ファーマシューティカルズを売却しました。

### フィデリティ世界医療機器関連株ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

ヘルスケア機器・サービスセクターおよび医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンスセクターを中心に投資を行いました。

主要購入銘柄は、末期循環器疾患向け治療製品・サービスを提供する医療機器メーカーのエドワーズライフサイエンスや、内視鏡、内視鏡開創器具・解剖用器具など手術設備メーカーのインテュイティブサージカルなどでした。主要売却銘柄は、分析・検査機器、試薬などを提供する科学関連製品メーカーのサーモフィッシュャーサイエンティフィックおよび睡眠呼吸障害の治療に使用する医療機器を提供する医療機器メーカーのレスメドや、生理的パラメータの非侵襲的モニタリングに使用される医療信号処理・検知テクノロジーを提供する医療テクノロジー会社のマシモなどでした。

ベンチマークとの差異について(2023年6月27日から2024年6月25日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2023年6月27日から2024年6月25日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第6期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	11,806

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとした。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」、「フィデリティ世界医療機器関連株ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」の組入比率を原則として高位に保ちます。「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」、「フィデリティ世界医療機器関連株ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」への投資割合は、概ね7：3を維持します。

### カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）

金利はピークを付けたと考えられ、株式市場、特にバイオテクノロジーセクターにとっては良好な環境になることが予想されます。こうした中で、良好な臨床試験結果と市場の大きな成長が期待される、がん関連や中枢神

経系領域など、ボトムアップでの銘柄選定にフォーカスし、魅力的な中小型銘柄を中心に厳選して投資を行う方針です。

### フィデリティ世界医療機器関連株ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

医療機器関連セクターは、先進国の高齢化、新興国の所得向上に伴う医療需要の拡大に加え、医療の高度化、効率化、デジタル化など構造的かつ長期的な成長要因に支えられています。コロナ禍で延期されていた不要不急の医療行為の回復により、今年から来年にかけて病院の利用度は力強く改善すると見込まれ、医療機器関連企業を取り巻く事業環境は良好であると考えられます。今後も徹底した個別企業調査を実施し、成長性や企業価値が市場で正しく評価されておらず、株価の成長余力があると判断される銘柄に選別投資する方針です。

## 3 お知らせ

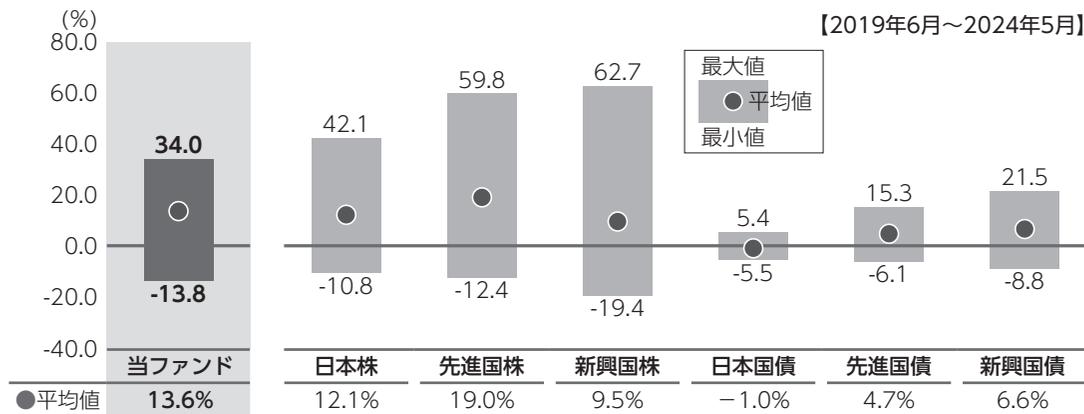
### 約款変更について

該当事項はございません。

## 4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	無期限(設定日：2018年6月25日)
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、世界のバイオテクノロジーおよび医療機器関連企業の株式へ投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	<p>当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p><b>カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）</b> 世界のバイオテクノロジー関連企業の株式</p> <p><b>フィデリティ世界医療機器関連株ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)</b> 世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場している医療関連の機器、設備、技術等を提供する企業の株式</p>
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主として、世界のバイオテクノロジーおよび医療機器関連企業の株式に投資します。</li> <li>■バイオテクノロジー関連企業の株式への投資は、カンドリアム・エス・シー・エーが運用する「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」を通じて行います。</li> <li>■医療機器関連企業の株式への投資は、FIAM LLCが実質的に運用する「フィデリティ世界医療機器関連株ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」を通じて行います。</li> <li>■バイオテクノロジー関連企業の株式、医療機器関連企業の株式への投資割合は、概ね7：3を基本とします。</li> <li>■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>■外貨建資産への直接投資は行いません。</li> </ul>
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■年1回(原則として毎年6月25日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。</li> <li>■分配対象額は、経費控除後の利子・配当収入と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。</li> <li>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</li> </ul> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</p> </div>

## 5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

### 各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

## 6 当ファンドのデータ

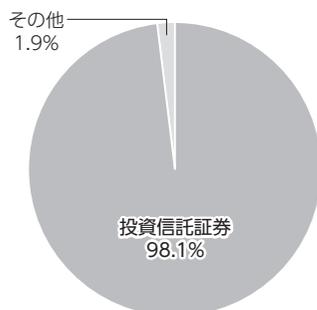
### 当ファンドの組入資産の内容 (2024年6月25日)

#### 組入れファンド等

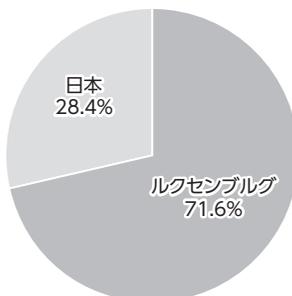
銘柄名	組入比率
カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー(Sクラス、円建て)	70.2%
フィデリティ世界医療機器関連株ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	27.9%
コールローン等、その他	1.9%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

#### 資産別配分(純資産総額比)



#### 国別配分(ポートフォリオ比)



#### 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

#### 純資産等

項目		第6期末 2024年6月25日
純資産総額	(円)	46,090,043,932
受益権総口数	(口)	21,135,741,083
1万口当たり基準価額	(円)	21,807

※当期における、追加設定元本額は950,610,196円、解約元本額は4,154,816,441円です。

組入上位ファンドの概要

カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）  
 (2023年1月1日～2023年12月31日)

基準価額の推移以外は投資ファンドを含むシェアクラスで構成された「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー」の情報で、カンドリアム・エス・シー・エーから提供されたデータに基づき作成しています。

基準価額(円建て)の推移



※分配金再投資ベース

組入上位銘柄

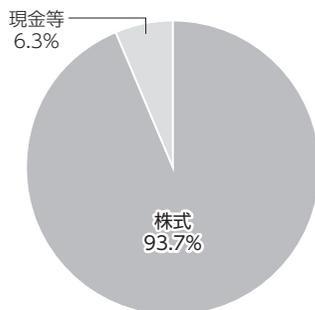
(基準日：2023年12月29日)

	銘柄名	国・地域	業種	比率
1	バーテックス・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	6.9%
2	アムジェン	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	6.8%
3	リジェネロン・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	6.7%
4	ギリアド・サイエンシズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	6.0%
5	サノフィ	フランス	医薬品・バイオテクノロジー	2.8%
6	アルナイラム・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.8%
7	アストラゼネカ	イギリス	医薬品・バイオテクノロジー	2.8%
8	パイオジェン	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.6%
9	ニューロクライン・バイオサイエンシス	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.3%
10	モデルナ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.2%
	全銘柄数	104銘柄		

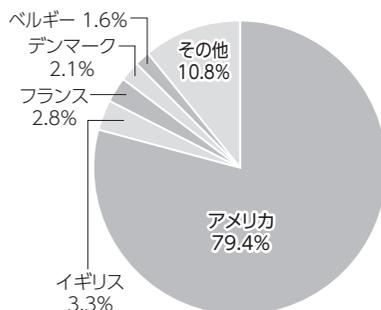
※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全銘柄の情報については、運用報告書(全体版)に記載しています。

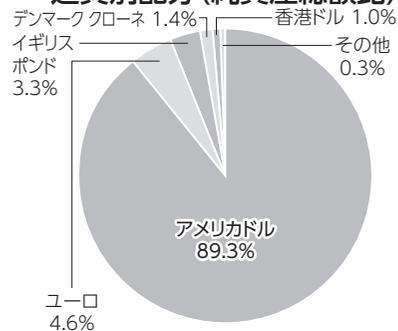
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(純資産総額比)



通貨別配分(純資産総額比)



※国別配分は原則発行国もしくは投資国を表示しています。

※基準日は2023年12月29日です。

### 1万口当たりの費用明細

※単位当たり費用明細は入手できるデータがないため記載していません。

フィデリティ世界医療機器関連株ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)(2023年6月16日から2024年6月17日まで)

基準価額の推移



組入ファンド等

(基準日：2024年6月17日)

銘柄名	比率
フィデリティ世界医療機器関連株マザーファンド	100.0%
その他	0.0%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

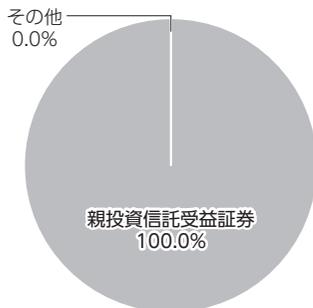
1万口当たりの費用明細

(単位：円)

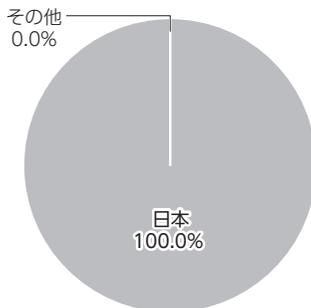
項目	(内訳)	金額	(内訳)
信託報酬	(投信会社)	176	(169)
	(販売会社)		(2)
	(受託会社)		(4)
売買委託手数料	(株式)	5	(5)
有価証券取引税	(株式)	0	(0)
その他費用	(保管費用)	6	(5)
	(監査費用)		(1)
合計		187	

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

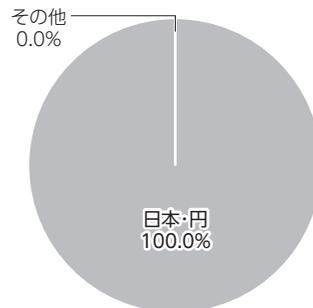
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※基準日は2024年6月17日現在です。

※比率は、純資産総額に対する割合です。

(フィデリティ世界医療機器関連株マザーファンド(2022年12月16日から2023年12月15日まで))

### 基準価額の推移



### 1万口当たりの費用明細

(単位：円)

項目	(内訳)	金額	(内訳)
売買委託手数料	(株式)	8	(8)
有価証券取引税	(株式)	1	(1)
その他費用	(保管費用)	7	(7)
合計		16	

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

### 組入上位銘柄

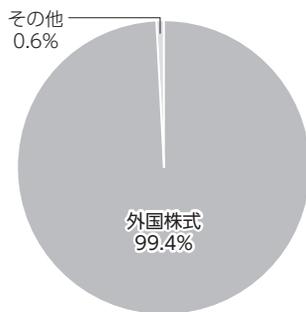
(基準日：2023年12月15日)

	銘柄名	通貨	比率
1	DANAHER CORP	アメリカ・ドル	14.9%
2	BOSTON SCIENTIFIC CORP	アメリカ・ドル	14.0%
3	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	アメリカ・ドル	13.2%
4	STRYKER CORP	アメリカ・ドル	6.2%
5	PENUMBRA INC	アメリカ・ドル	5.1%
6	ABBOTT LABORATORIES	アメリカ・ドル	4.2%
7	INTUITIVE SURGICAL INC	アメリカ・ドル	3.9%
8	EDWARDS LIFESCIENCES CORP	アメリカ・ドル	3.0%
9	IQVIA HOLDINGS INC	アメリカ・ドル	2.9%
10	VEEVA SYS INC CL A	アメリカ・ドル	2.5%
	全銘柄数		44銘柄

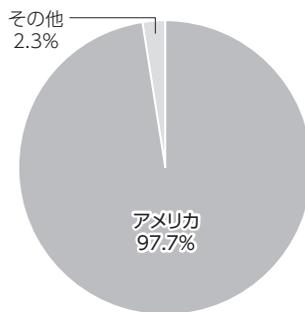
※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

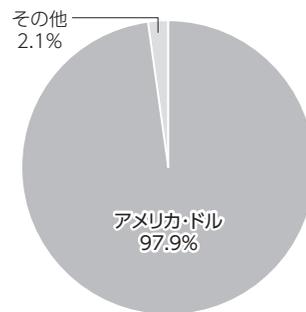
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



※基準日は2023年12月15日現在です。

※比率は、純資産総額に対する割合です。